

2010/6/9開催・資産運用セミナー
金融の社会的機能と資産運用

～産業の発展を金融的に支援するという、投資の原点への回帰～

アンケート結果

HCアセットマネジメント株式会社



「セミナーテーマに関するアンケート」結果報告

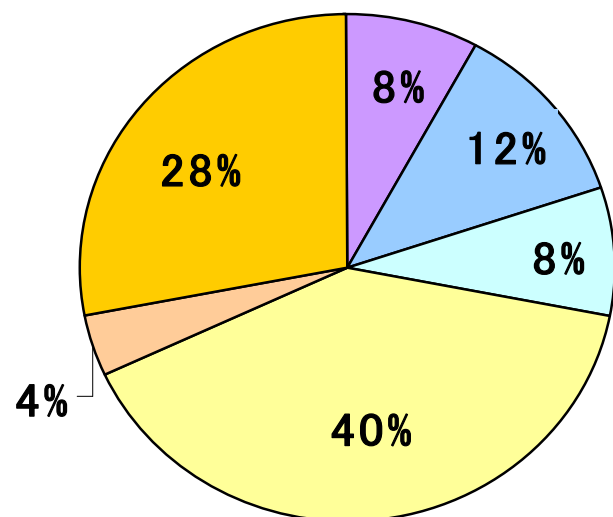
様々な金融の社会的機能についてアンケートを実施。

- ・セミナー参加者人数 計34名
- ・アンケート回答者人数 計25名

回答率 : 73%

※小数点第一位以下切捨

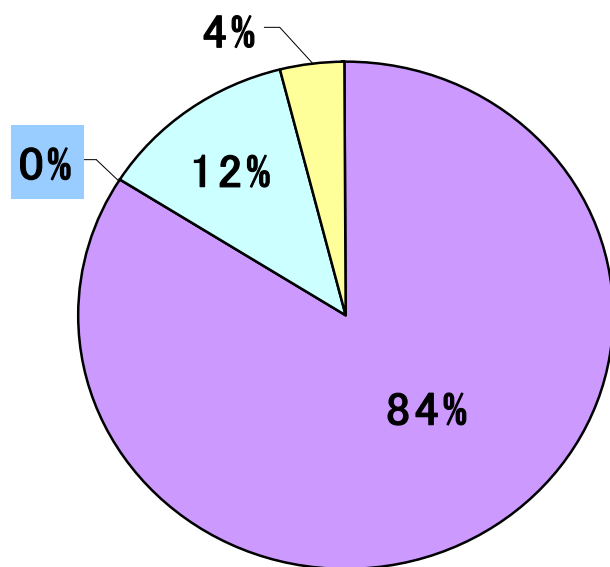
アンケートにご協力頂いた方の業種別割合



	人数
①	2
②	3
③	2
④	10
⑤	1
⑥	7
合計	25

- ①年金基金もしくは母体企業の資産運用管理者
- ②金融機関の自己資産運用担当者
- ③大学財団など、その他法人の資産運用担当者
- ④投資運用業者(信託銀行を含む)
- ⑤コンサルタント
- ⑥その他

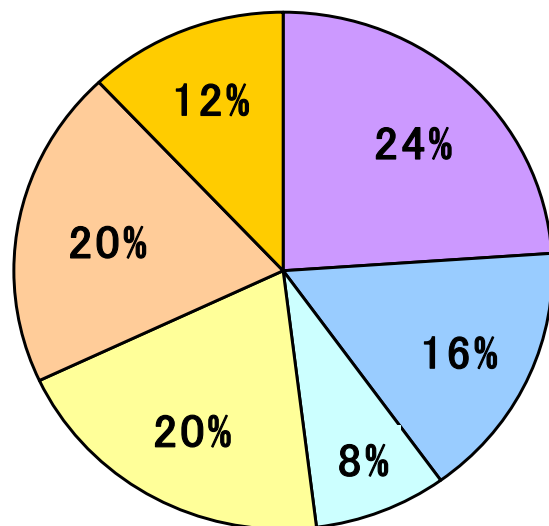
Q1 資産担保証券(例えば、サブプライム関連の証券)について、原資産(例えば、サブプライム・ローンそのもの)に投資価値がないときでも、証券の構造を工夫することで、投資価値を作ることはできるでしょうか。
一番近いと思われるものを、一つだけお選びください。



	人数
①	21
②	0
③	3
④	1
合計	25

- ①原理的に、あり得ない。
- ②格付機関が評価しているのだから、問題ない。
- ③投資価値のある部分とない部分に分かれるのだから、価値のある部分だけに投資すればよい。
- ④その他

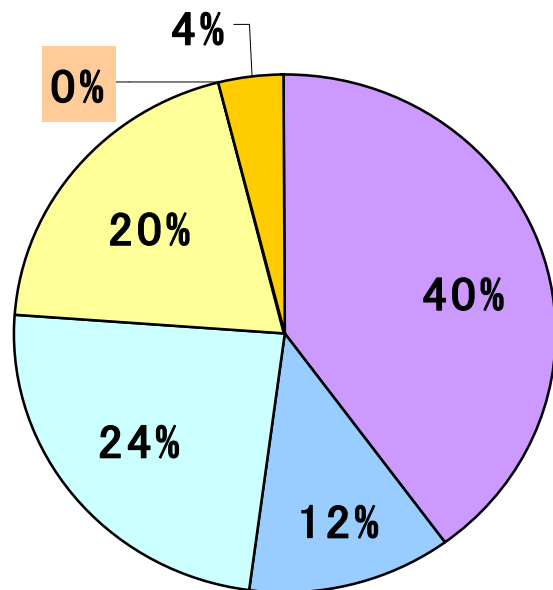
Q2 「宝くじ」の発行は、実は、地方自治体の資金調達です。しかし、「宝くじ」は、購買者全体についての期待収益率が大幅マイナス（約-50%！）で確定するので、購入する経済合理性はありません。そのような「宝くじ」の発行で、資金調達を行う自治体の行為は、なぜ正当化されるのでしょうか。一番近いと思われるものを、一つだけお選びください。



	人数
①	6
②	4
③	2
④	5
⑤	5
⑥	3
合計	25

- ①「庶民の夢として愛され、親しまれ、定着したファンをもつ」から（日本宝くじ協会ウェブサイトより）。
- ②法律（当せん金付証票法）で定められているから。
- ③金融商品取引法の適用がないから。
- ④資金使途が、公共のものだから。
- ⑤本来は、正当化され得ない。
- ⑥その他

Q3 ベンチャーキャピタルが全く新しいスタートアップの企業や創業間もない企業に投資することは、究極の成長支援という意味で、ベンチャーキャピタルにしかできない金融の社会的役割です。しかし、一方で、合理的な事業キャッシュフローの推計に、限界のあるのは事実です。創業支援は、適格な投資であり得るのでしょうか。一番近いと思われるものを、一つだけお選びください。



	人数
①	10
②	3
③	6
④	5
⑤	0
⑥	1
合計	25

- ①事業キャッシュフローの推計は難しくても、事業モデルの妥当性や合理性は評価し得るのだから、適格な投資である。
- ②ひとつひとつの案件ごとに、投資の適格性を議論することはできない。複数投資することで、統計的な制御がなり立つ限りでのみ、適格な投資である。
- ③投資後の様々な経営支援活動(いわゆるハンズオン)によって、積極的にリスク管理できるという条件の下でのみ、適格な投資である。
- ④創業直後の投資は、適格性を欠く。ある程度、事業キャッシュフローが読める段階に達した企業に、投資は限定すべきである。
- ⑤その他
- ⑥無回答